

安全データシート

【製造者情報】

会社名 三ツ星ベルト株式会社
 住所 神戸市長田区浜添通4丁目1-21
 担当部門 建設資材事業部 技術・生産部
 電話番号 078-682-3379
 FAX 番号 078-685-5681
 緊急連絡先 同上

【整理番号】

K-750 作成 2010年12月23日

【製品名】

ネオ・クロスCK
 (ポリエステル繊維製織布：防水補強材)

【危険有害性の要約】

最重要危険有害性及び影響

有害性 : 通常の状態では人の健康に対する有害な影響は少ない。
 環境影響 : 特段の影響はない。
 物理的及び化学的危険性 : 繊維製メッシュであり、発火、爆発の危険性はない。消防法の危険物には該当しないものの、指定可燃物に該当する原料を使用しています。
 特定の危険有害性 : 特になし。
 分類の名称 : 該当なし
 GHS分類 : 分類基準に該当しない。

物理化学的危険性	健康有害性		
火薬類	分類対象外	急性毒性(経口)	区分外
可燃性/引火性ガス	分類対象外	急性毒性(経皮)	区分外
可燃性/引火性エアゾール	分類対象外	急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
支燃性/酸化性ガス類	分類対象外	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
高压ガス	分類対象外	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない
引火性液体	分類対象外	皮膚腐食性/刺激性	区分外
可燃性固体	区分外	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分外
自己反応性物質および混合物	分類対象外	呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
自然発火性液体	分類対象外	生殖細胞変異原性	区分外
自然発火性固体	分類対象外	発がん性	区分外
自己発熱性物質および混合物	分類対象外	生殖毒性	分類できない
水と接触して可燃性/引火性ガスを発生する物質および混合物	分類対象外	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	分類できない
酸化性液体	分類対象外	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	分類できない
酸化性固体	分類対象外	吸引力呼吸器有害性	分類できない
有機過酸化物質	分類対象外	環境有害性	
金属腐食性物質	分類できない	水生環境有害性(急性)	区分外
		水生環境有害性(慢性)	区分外

【組成成分情報】

単一製品・混合物の区分 : 混合物
 一般名 : ポリエステル繊維製メッシュ
 化学名 : ポリエチレンテレフタレート
 成分 : 98.5%以上
 別名 : ポリエステル
 CAS番号 : 25038-59-9
 官報公示整理番号 化審法 : 7-1022
 安衛法 : 公表
 危険有害成分 : 1%以上の危険有害成分および0.1%以上の発がん性物質を含まない。
 化学物質管理促進法 : 1%未満のため該当しない
 指定化学物質(政令番号)
 労働安全衛生法 : 1%未満のため該当しない
 通知対象物(政令番号)
 毒物劇物取締法 : 該当しない

毒物・劇物（政令番号） 内分泌攪乱化学物質：環境ホルモン戦略計画SPEED '98（2000年11月版）表3-1に記載の65物質群には該当しない	
【応急措置】	
呼吸した場合	：綿塵等の粉塵や溶融物等から発生するガスを吸った時は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	：溶融物の場合は直ちに大量の清浄な水で冷やす。皮膚上の固まった樹脂は無理に剥がさず、医師の診断を受けて下さい。 粉塵等の場合は清浄な水でよく洗い、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。
目に入った場合	：直ちに清浄な水で15分以上洗い、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	：出来るだけ吐き出させ、異常がある場合は医師の診断を受ける。
【火災事の措置】	
消火剤	：水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤
特定の危険有害性	：不完全燃焼すると一酸化炭素、アセトアルデヒド等の有害ガスを発生する。
特定の消火方法	：消火作業は可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	：大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。
【漏出時の措置】	
人体に対する注意事項	：人体に対する危険有害性は小さいと考えられるが、保護眼鏡や保護手袋等を用いて、直接皮膚などに触れないよう注意する。処理後は手や顔などをよく洗う。
環境に対する注意事項	：環境への影響は小さいが、長期間残留すると考えられるので環境中に廃棄しない。
除去方法	：箒や掃除機等で全量回収する。
【取扱い及び保管上の注意】	
取扱い	
技術的対策	：取扱者の暴露防止：素手では取扱わない。 火災、爆発の防止：常温では引火性はないが、消防法指定可燃物であり、近くでみだりに火気を使用しない。
注意事項	：粉塵の発生や溶融を伴う作業をするときは、局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項	：高速で糸を走行させるなどの作業では糸で皮膚などを切る恐れがあるので、走行中は近づかない 強酸化剤は素材が劣化し、濃硫酸、フェノール類などには溶融するので接触は避ける。
保管	
適切な保管条件	：直射日光は避ける。 強酸化剤、濃硫酸、フェノール類と隔離して保管する。 消防法指定可燃物であり、市町村条例に従う。（消火設備、屋内貯蔵、取扱所など）
安全な容器包装材料	：推奨 不燃性容器
【暴露防止装置】	
設備対策	：溶融を伴う作業等の場合は溶融樹脂と作業者の間に隔壁を設ける。
保護具	：呼吸器の保護具 ；粉塵が多い場合は防塵マスクの着用が望ましい ：手の保護具 ；保護手袋着用 ：目の保護具 ；粉塵が多い場合は着用が望ましい ：皮膚及び身体の保護具 ；糸の高速走行、溶融を伴う作業等では保護衣を着用する
【物理的及び化学的性質】	
物理的状態、形状	：固体(短繊維) 色 ；白色
臭い	：無臭 pH ；該当しない
融点	：255℃ 分解温度 ；280℃以上
引火点	：345～400℃ 発火点 ；480℃
爆発特性	：なし 密度 ；1.35～1.40 g/cm ³ (23℃)
溶解性	：水 不溶 ：濃硫酸、フェノール類 溶解
【安定性及び反応性】	
安定性	：常温、単独では安定で反応性はない。
反応性	：溶融などの高温では一部熱分解する。着火源があれば燃える。
避けるべき条件	高熱、炎
避けるべき材料	強酸化剤

<p>危険有害な分解生成物 ：溶融、燃焼などの高温ではアセトアルデヒド等を発生する。</p>
<p>【有害性情報】 急性毒性(LD50等) : 有害性はないと考えているが、具体的なデータを持たない。</p>
<p>【環境影響情報】 残留性/分解 : 生分解性なく安定で、環境中に長期に残留すると考えられる。</p>
<p>【廃棄上の注意】 残余廃棄物 : 廃棄物処理法の産業廃棄物に該当する。産業廃棄物処理業者も若くは地方公共団体が処理を引き受けている場合には地方公共団体に委託し焼却するときは、管理された焼却設備を用いて、廃棄物処理法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法等に従って処理する。 汚染容器・梱包 : 残余廃棄物と同じ。</p>
<p>【輸送上の注意】 国連分類 : 国連勧告の定義上の危険物には該当しない。 国内規制 : 輸送に関する法規制には該当しない。 輸送の特定の安全対策及び条件 : 重量物のため、転倒、落下がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。破袋の恐れがあるので、水濡れや、乱暴な取扱いはしない。</p>
<p>【適用法令】 消防法 : 指定可燃物に該当します。 廃棄法 : 産業廃棄物、廃プラスチック類に該当します。</p>
<p>【その他の情報】 制約次項 記載内容は、現時点で入手し得る資料、情報、データにもとづいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の見取りを対象としたものであるため、特別の見取りをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。</p>